

# GIDWR 岐阜県感染症発生動向調査週報

2016 年第 14 週

(4/4～4/10)

3 月報合併号

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

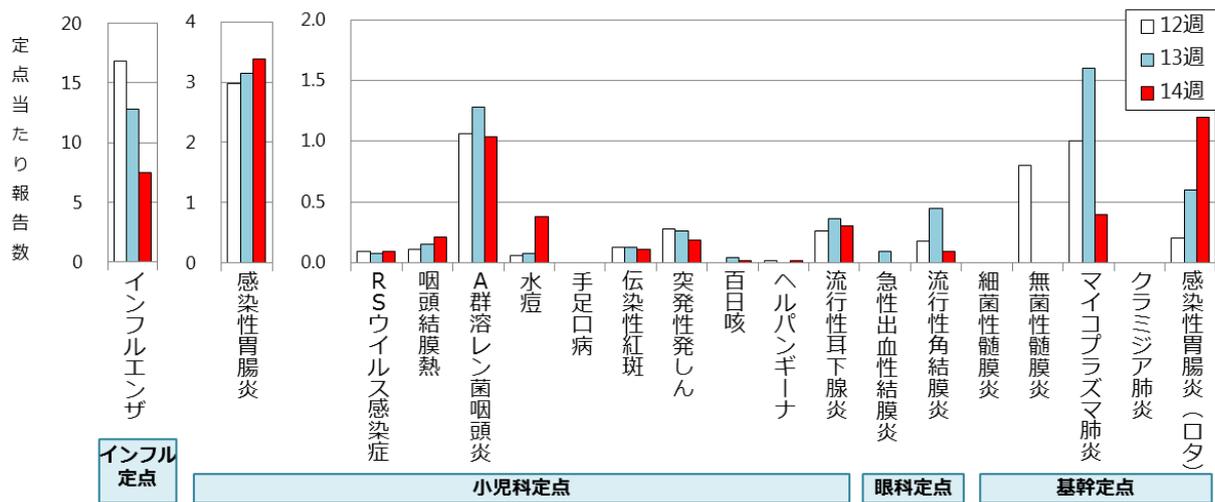
◇ インフルエンザはすべての保健所管内で定点当たり 10 人を下回り、県内のインフルエンザ警報が解除されました。 →トピックス

## ■ 定点把握対象疾患（インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

### ● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

	疾患名	保健所（定点当たり報告数）
警報レベル	なし	—
注意報レベル	なし	—

### ● 直近 3 週の比較



## ■ 全数把握対象疾患

### ● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 12 例
- 3 類感染症：なし
- 4 類感染症：デング熱 1 例（感染地域：スリランカ）
- 5 類感染症：後天性免疫不全症候群 6 例、侵襲性肺炎球菌感染症 2 例

### ● 2016 年累計

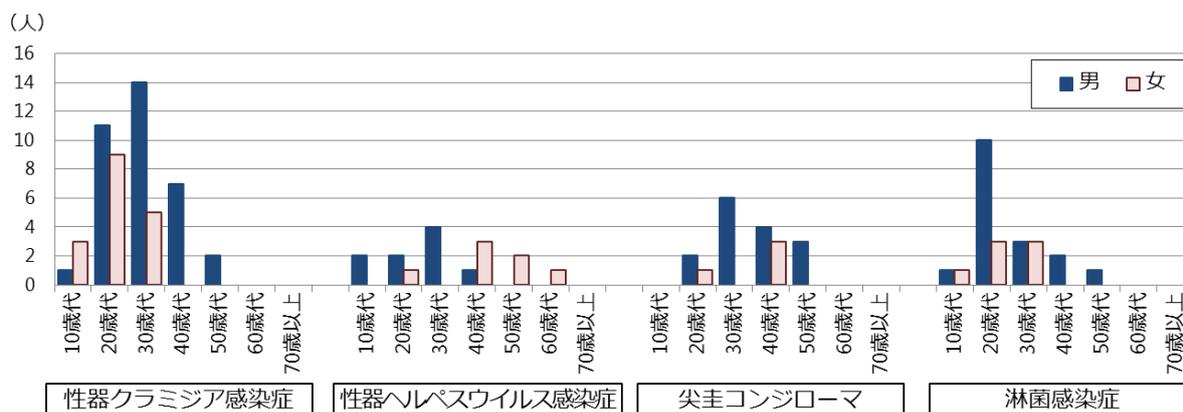
1 類感染症	なし	
2 類感染症	結核	118 例
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6 例
4 類感染症	A 型肝炎	1 例
	つつが虫病	1 例
5 類感染症	アメーバ赤痢	2 例
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 例
	後天性免疫不全症候群	8 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	3 例
	デング熱	1 例
	レジオネラ症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	21 例
	水痘（入院例に限る）	3 例
	梅毒	5 例
	播種性クリプトコックス症	1 例

## ■月報告定点把握対象疾患 <3月>

### ●性感染症（STD定点：15か所）

疾患名	報告数（定点当たり）					
	3月	男	女	2月	1月	12月
性器クラミジア感染症	19 (1.27)	12	7	17 (1.13)	16 (1.07)	14 (0.93)
性器ヘルペスウイルス感染症	3 (0.20)	2	1	7 (0.47)	6 (0.40)	5 (0.33)
尖圭コンジローマ	6 (0.40)	5	1	7 (0.47)	6 (0.40)	8 (0.53)
淋菌感染症	7 (0.47)	5	2	10 (0.67)	7 (0.47)	8 (0.53)

### 年齢階級別報告数（2016年1月～3月）



### ●薬剤耐性菌感染症（基幹定点：5か所）

疾患名	3月報告数（定点当たり）	年齢群等
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	13 (2.60)	10歳未満2例、60歳代2例、70歳以上9例
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	3 (0.60)	70歳以上3例
薬剤耐性緑膿菌感染症	なし	-

## ■病原体検出情報速報

病原体定点等から提出された検体の病原体（遺伝子を含む）検索結果（3月10日～4月13日結果判明分）

臨床診断名	病原体名	検出数（人）	検体採取年月
インフルエンザ	インフルエンザウイルス B型	4	2016年3月
急性呼吸不全	RSウイルス	1	2015年12月
ウイルス性心筋炎	パルボウイルス B19型、ヘルペスウイルス 7型	1	2016年1月
侵襲性髄膜炎菌感染症	<i>N. meningitidis</i> 血清群 Y	2	2016年2月、3月
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	<i>E. coli</i> (カルバペネム耐性、メタロ-βラクタマーゼ産生)	1	2016年3月
腸管出血性大腸菌感染症	腸管出血性大腸菌 O115:H10 VT1	3	2016年3月

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターのHPをご覧ください。

感染症発生動向調査週報（IDWR） <http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>

病原微生物検出情報（IASR） <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>

## ■トピックス

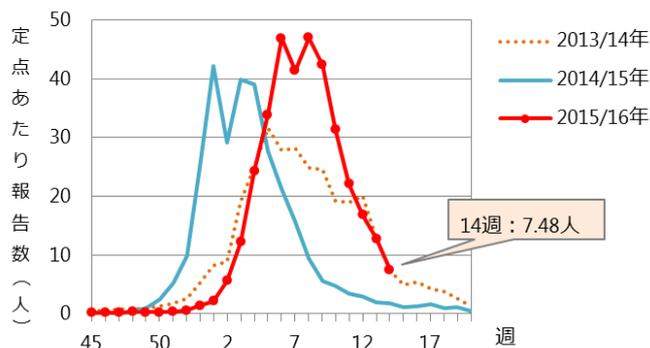
### 《インフルエンザ》

#### ◆ インフルエンザ警報が解除されました

県内 87 のインフルエンザ定点医療機関からの第 14 週のインフルエンザ患者報告数は 651 人（定点当たり 7.48 人）と減少し、すべての保健所管内で定点当たり 10 人を下回ったことから、2 月 4 日に県内に発令されたインフルエンザ警報は解除されました。

県内の流行は収まりつつありますが、今後しばらくは動向に注意し、学校や職場などでは引き続き感染予防に努めてください。

インフルエンザ患者報告数（岐阜県：87 定点）



週別定点当たり報告数

週	今シーズン (2015/16)		昨シーズン (2014/15)	
	定点当たり 報告数	警報等	定点当たり 報告数	警報等
49	0.24		1.01	流行入
50	0.22		2.52	注意報
51	0.30		5.24	↓
52	0.62		9.91	
53	1.38	流行入	-	
1	2.13		42.15	警報
2	5.61	注意報	29.13	↓
3	12.21	↓	39.90	
4	24.31	警報	39.05	
5	33.87		27.63	
6	46.86		21.29	
7	41.38		15.56	
8	46.95		9.34	
9	42.37		5.51	
10	31.37		4.68	
11	22.09		3.46	
12	16.83		3.00	
13	12.80		1.99	
14	7.48		1.78	

#### ◆ 今シーズンの県内流行動向

今シーズン、県内では 2015 年第 53 週（12/28～1/3）に患者報告数が流行入りの目安とされる定点当たり 1 人を超えました。その後は比較的早いペースで患者数が増加し、第 6 週（2/8～2/14）から第 9 週（2/29～3/6）にかけて県全体で定点当たり 40 人を超える高いレベルで推移しました。第 10 週以降は急激な減少に転じました。

今シーズンの流行入りは昨シーズンより 4 週遅く、ピークの高さ（第 8 週：定点当たり 46.95 人）は過去 10 シーズンで上から 2 番目でした。

岐阜県リアルタイム感染症サーベイランス（A・B 型別患者報告）によると、今シーズンは B 型の患者が A 型より多く報告されており、B 型の流行が大きかったことが特徴といえます。さらに A 型と B 型の流行の時期が重なっていたためピークが高くなったと考えられます。

県内のウイルスサーベイランスでは、2016 年第 1 週～第 14 週に採取された 101 検体中、AH1pdm09 が 52 件、AH3（A 香港型）が 1 件、B 型が 48 件検出されています。A 型では、昨シーズンは A 香港型が主流であったのに対し、今シーズンは 2009 年に新型インフルエンザとして流行した AH1pdm09 が主流となっています。

（参考）岐阜県リアルタイム感染症サーベイランス <http://infect.gifu.med.or.jp/influ/influcondition>

#### ★ 感染症法における取扱い

インフルエンザは、感染症法において 5 類感染症定点把握対象疾患に定められており、全国約 4,900 か所（岐阜県 87 か所）のインフルエンザ定点から毎週報告がなされています。届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/11223/kansenshouhou-kijun.html>

（保健医療課 HP）

岐阜県感染症情報センターHP

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/>